

ファイナンスのための数理ワークショップ

<http://sites.google.com/site/wsmathfinance>

タイトル：拒否権付き株式（黄金株）を導入した場合の株主の権利配分に対する影響について

佐々木 宏夫（早稲田大学商学学術院）

原 和宏（早稲田大学大学院基幹理工学研究科修士課程）

- 11月27日（金） 11:00 - 12:00
- 場所：早稲田大学理工学部 63号館4F 63-4-05
- 概要：2006年の会社法改正によって、わが国では拒否権付き株式（いわゆる「黄金株」）の発行が合法化された。本報告では Probabilistic Power Index (PPI) と呼ばれる投票力指数の族において、「拒否権のないゲームの投票力指数を、拒否権付きゲームの投票力指数と元のゲームの双対ゲームの拒否権付きゲームの投票力指数に分解する」ことができるための必要十分条件を確立し、この条件を満たす分解可能な PPI（（それには、代表的な投票力指数であるシャプレイ＝シュービック指数やバンザフ指数が含まれる）において、拒否権付き株式の導入が株主全体の権利配分にいかなる影響を与えるのかを理論的に明らかにする。さらに、拒否権付き投票者がいるときに投票力指数を計算するためのアルゴリズムを与える。

タイトル：株式持ち合いネットワークの分析—株式持ち合い関係の可視化と XBRL のデータを用いた財務分析

後 美帆（早稲田大学 会計研究科 M2）

豊泉 洋（早稲田大学 会計研究科、応用数理学科）

- 12月18日（金） 17:00 - 18:00
- 場所：早稲田大学理工学部 63号館4F 63-4-05
- 概要：一般的に企業は、企業間のさまざまな関係性を基に形成されたネットワークに属しているが、本研究は、その中の株式保有関係に注目し、ある企業とそれを取り巻く企業との株式保有関係によって形成されるネットワークを「株式持ち合いネットワーク」と定義している。企業の株式保有状況は、有価証券報告書等に記載されているが、そこから得られる情報は、直接の株主に関するもののみであり、ネットワークの規模が大きくなるほど、全体像が見えにくくなる。そのような株式保有関係を可視化し、分析を行うことによって、株式持ち合いネットワークを把握すること、株式持ち合いによる財務パフォーマンスへの影響について考察することを目的としている。

ファイナンスに関連した様々な問題に関する数理的アプローチの研究コラボレーションのためのワークショップです。1ヶ月に一度程度のペースでワークショップを開催する予定です。今後もお知らせも受け取りたい方は、豊泉 (toyozumi@waseda.jp) までご連絡ください。